

経済学史研究

(旧 経済学史学会年報)

49-1

2007年6月

【論文】

Business Cycles in Juglar and Schumpeter

Muriel Dal-Pont Legrand and Harald Hagemann (1)

モンテスキュー『法の精神』における「シヴィル civil」概念の二重性

——ハリントン『オシアナ共和国』との対比において——

定森 亮 (19)

R. トレンズの投下労働価値論批判

久松 太郎 (37)

J.S. ミルにおける企業分析とアソシエーション

——C. パベッジの所説を手掛かりに——

村田 和博 (53)

E.Y. エッジワース『数理精神科学』と功利主義

——シジウィック＝バラット論争からの独自展開——

上宮 智之 (69)

相対的安定期の開始とヒルファディング

河野 裕康 (86)

ハロッド不完全競争論の再検討

——前期から後期への展開を中心として——

伊藤 正哉 (104)

ミュルダールの低開発経済論

——累積的因果関係論の検討を中心に——

藤田葉々子 (121)

【研究動向】

ゲーム理論の歴史と現在

——人間行動の解明を目指して——

岡田 章 (137)

【Notes and Communications】

【書評】